



## 愛知の「働き方改革」取組事例 愛三工業株式会社

Aisan



所在地：愛知県大府市共和町

業種：製造業

社員数：3,366名 男性 2,939名 女性 427名（H28.4現在）

### トップメッセージ・取組の目的

イキイキとした職場風土への改革を目指し、心身の健康維持、ワークライフバランスの実現、意欲をもって業務に打ち込める労働環境づくりへの取り組みを進めています。

### 取組の概要

#### ○ 時間外労働削減の取組

- 毎日のグループミーティングにおいて、その日の時間外労働の有無及び時間を管理者が指示している。
- 管理者による部下に対しての日常的な OJT、ミーティングでの意見交換、話しかけやすい座席配置などの「面倒見」により、業務量等を把握し、協力しやすい職場環境形成を目指している。
- 週に一度「定時の日」を設定し、月に一度人事部による巡回指導を実施することで、定時での退社が定着するように取組んでいる。
- 月間45時間を超える残業を行う場合は担当役員が決裁を行うことにより、長時間労働の抑制を図っている。
- 業務量を正確に把握し、業務効率化を推進するために、仕事の総工数管理を開始したが、これにより今まで以上に労働時間の適正化が図れるようになった。
- 健康管理の面からも、月45時間超えの社員に対して問診票の提出を義務付け、問診票の内容によっては産業医との面談を実施している。心身の異常・予兆を早期発見するとともに長時間労働の抑制を図っている。
- 残業時間の多い部署については、安全衛生委員会において、産業医から所属長に対して健康面での注意喚起を行っている。

#### ○ 年次有給休暇の取得促進に関する取組

- 年次有給休暇取得計画書を毎月作成し、計画通りに取得できない社員については、グループミーティング等で取得フォローをしている。
- 勤続5年毎に1回、平日連続5日の褒賞休暇（土日を含む9日連休も可能）の制度や、年1回の3日間連続の推奨で有給休暇の取得を促進している。それにより有給休暇の取得促進を「カットゼロ」（年度末に失効する有給を発生させない運動）を目標として進めている。
- 有給休暇を取りやすくするため、誕生日や結婚記念日などの記念日に取得できるメモリアル休暇制度を実施している。

## 取組の概要

### ○ その他の休暇制度

- ・年次有給休暇以外にも慶弔休暇やボランティア・裁判員・ドナー休暇など社会貢献のために使用できる有給の休暇制度がある。

### ○ 仕事と育児・介護の両立支援の取組

- ・子が3歳になるまで育児休業の取得を可能としている。
- ・早期の復帰者には子育て応援手当として、子1名につき月額1万円支給（3歳の誕生日まで）している。
- ・育児休業中の従業員が復帰しやすい環境づくりとして、年に1度の育児者交流会を実施している。  
⇒育児休業取得後の復帰率は92.3%。

### ○ 定年後の働き方への支援の取組

- ・60歳以上には役割や業務内容により3つのコースを設定している。
  - ①役職継続コース（役職者としての待遇を変えない）
  - ②一般フルタイムコース
  - ③一般ハーフタイムコース（週20時間勤務のなかで1日4時間と8時間の組合せで設定可能）

## 現状とこれまでの取組の効果

- 年次有給休暇取得日数は2004年の14.2日から順調に向上しており、2015年度は16.1日である。
- 総工数管理（2016年度）は、前年に対して5%低減を目標にしており、4月～10月時点で目標を上回る実績である。